

全会計予算を否決

第1回定例会

否決した主な理由

- ・庁舎建設費（総額約24億円）が高額である。
- ・税金や使用料等の収納対策対応が認められない。
- ・七会診療所建設予定地について、町民の声が反映されていない。

否決した平成26年度予算案

会計名		予算額	前年度比
一般会計		116億4,000万円	30.1%増
国保	事業勘定	25億5,930万6千円	4.3%増
	施設勘定	2億4,613万2千円	0.5%増
後期高齢者医療		1億9,546万円	9.6%減
介護	保険事業勘定	17億3,740万8千円	2.8%増
	介護サービス事業勘定	417万2千円	2.6%増
公共下水道事業		11億1,624万4千円	1.7%減
農業集落排水事業		2億7,691万7千円	0.6%減
水道	収益的収入及び支出	7億7,991万4千円	3.6%増
	資本的収入	3億9,967万4千円	
	資本的支出	6億3,389万円	



否決した予算案について、臨時会で審議

第1回定例会で否決となった平成26年度一般会計・特別会計の全会計予算案については、指摘を受けた部分を修正して町長から再提出されたため、5月21日に第2回臨時会を開催し、審議した結果、**再度否決**しました。

修正内容、討論等については、**8ページ**をご覧ください。

第1回定例会は、4月22日から30日の会期で開催し、承認11件（うち平成25年度補正予算7件）・条例改正1件・平成26年度予算7件が上程されました。上程された議案のうち、平成26年度予算については、予算特別委員会へ付託し、常任委員会ごとに所管分を審議しました。その結果、平成26年度予算については、一般会計・特別会計の全会計予算案を否決し、その他の議案については原案どおり承認・可決しました。また、陳情1件・報告10件がありました。

平成26年度 一般会計予算・特別会計予算

賛成討論

根本 正典 議員

平成26年度予算は、先の城里町議会議員一般選挙のため、既に1カ月遅れている。団体への補助金等交付各種工事等の設計委託や発注、さらには国・県への補助金申請等々、これらの事務事業は予算の裏づけがあつて初めて執行できる。予算全体を否決するということは何もするなというに等しい。

例えば、ふれあいの船の

参加者募集や予約金の振り込みなどできない。予算の不成立が一番不利益をこうむるのは町民である。なぜ修正案を提出されるのか。不服とされる点について詳しく説明されないのか。

私たちが選挙公約としてきた政策に、予算という金銭面での裏づけを与えないという事は、政策を現実のものとするための事務事業にストップをかけるということになる。

阿久津 則男 議員

一般会計予算は町民のために予算化されたものであり、これを否決することにより起こり得る影響は多大である。

庁舎建設については、庁舎建設検討委員会で決定し、進行している。

ふれあいの船については、昨年7月1日に内金770万円支払っており、5月6月に契約しなければ夏休み事業として執行できず、

楽しみにしている子供たちにも影響が出るはず。安心子ども事業、保育所運営委託、児童手当、その他多くの支払いができない、あるいは遅滞してしまうおそれがある。町民に迷惑をかけることはできない。町民のことを考えれば、1カ月遅れの本予算は当然今定例会において可決すべきである。

予算について議会ができるのは一部修正のみである。修正案を出してほしかった。

反対討論

藤咲 芙美子 議員

庁舎建設費が24億1千万円だが、これは当初の建設費から数億円の増である。次々と計画が変更されることによつて建設費が際限なく拡大されるのではないかと町民は懸念している。身の丈にあつた庁舎にするべきではないか。

介護保険制度の改定によつて、要支援者が制度から外され、負担増を強いる施策が取り込まれている。このような方針は容認できない。

農業は本町の基幹産業であり、農業の再生は待ったなしと町長も述べたが、農林水産業費は前年度比マイナスである。商工費は大幅に減額されている。町民は、シャッターをおろす店が増えている現状に心を痛めると同時に、不便さも感じている。

以上のことから、本予算案は町民の願いと逆行していると言わざるをえない。

河原井 大介 議員

4点に絞つて討論する。1点目、多額の税滞納が発生しているが、現在の税務課内収納対策室を課に格上げし、税、使用料等の一元的な収納システムを構築すべきである。

2点目、庁舎建設だが、当初16億、18億と説明を受けたが、総額24億になつている。過程において議会や町民に情報提供がなく、町民の意見要望が全く反映されてない。庁舎建設検討委員会議録の提供を求める。

3点目、桂公民館改修工事に伴い桂支所を統合する(仮称)桂町民センター事業費1億3千万を計上しているが、地域住民の意見や利便性の確保等の情報提供が議会や町民に全くない。また、七会支所との整合性も全く説明されていない。

4点目、診療所周辺工事3百万であるが、建設される診療所の内容、場所、情報が明確にされていない。建設過程における地域住民及び町民のニーズや意見が全く反映されていない。議論が極めて不十分。